2024年度版

# 一発合格 まとめシード

中小企業診断士 1次試験

①[企業経営理論]







アウトプットで<mark>定着率</mark>が違う!

野網 美帆子 著

### 目次

はじめに	2
チェックテストの効果的な使い方	3
解答用紙	4
問題	5
解説	27
SHEET1 経営戦略とドメイン	28
SHEET2 環境分析と戦略	30
SHEET3 プロダクトライフサイクルと PPM	31
SHEET4 競争戦略 (ポーター)	33
SHEET5 競争戦略 (コトラー、リソースベースドビュー)	35
SHEET6 事業の拡大・多角化	37
SHEET7 MOT(技術経営)	38
SHEET8 研究開発・設計・製造のマネジメント、海外展開	39
SHEET9 企業の社会的責任、外部組織との連携と統合	41
SHEET10 組織構造論	43
SHEET11 組織構造の形態	45
SHEET12 外部環境と組織	46
SHEET13 モチベーション理論	47
SHEET14 リーダーシップ論	48
SHEET15 組織の活性化	49
SHEET16 人的資源管理	51
SHEET17	53
SHEET18	55
SHEET19 マーケティングコンセプト	56
SHEET20 消費者の購買行動	58
SHEET21 ターゲットマーケティング、リサーチ	60
SHEET22 製品戦略	62
SHEET23 価格戦略	64
SHEET24 チャネル・物流戦略	66
SHEET25 プロモーション戦略	68
解答	70

#### はじめに

一発合格まとめシート理解度チェックテスト(以下、「本テスト」)をご覧いただき、ありがと うございます。

著者は資格の学習を進めていくにあたっては、モチベーションの管理が特に重要だと思っています。

そして、モチベーションを維持するためには、予備校で言う答練のような、小さな目標を積み 重ねていくことが重要だと考えています。

一発合格まとめシートは、特に独学の方をターゲットに効率的に学習できるよう作ったテキストですが、以前から独学の方よりモチベーションを維持するための「答練」みたいなものが欲しいとのお声も上がっており、本テストを作成しました。

まとめシートチェックテストは、まとめシートの1つの科目の学習が終わったら解いていただくテストです。

ここで「100 点を取る」というのを目標に学習を進めていただくことで、合格という大目標を 達成するための1つのマイルストーンとなれば幸いです。

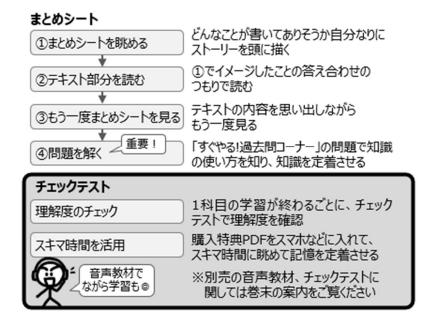
> 令和5年11月8日 中小企業診断士 野網 美帆子

#### チェックテストの効果的な使い方

#### ① 1科目の学習が終わるごとにテストを受ける

一発合格まとめシート(書籍)では、各シートの学習が終わった段階で「すぐやる!過去問コーナー」に掲載の過去問を解くことで知識の使い方を知り、定着させることを推奨しています。 そして、まとめシートで科目ごとに全てのシートの学習が終わった段階でこのチェックテストで理解度を確認します。

#### まとめシートと併せた効果的な使い方



#### ② チェックテストで 100 点が取れるように復習する

本テストの特徴は

- まとめシートの内容に準拠
- 絶対取りたいレベルの基本的な問題のみ出題
- しっかり勉強された方は確実に得点できる

となっているため、まずはテストを解いた後、解説を読んだうえで分からなかった問題はまとめシートの内容を確認し、確実に理解し100点を取れるまで繰り返し復習をします。

以上のように学習を進めることで、早期に弱点を克服するとともに基本的な論点を押さえることができます。

# 一発合格まとめシート 理解度チェックテスト 2024 **企業経営理論**

#### 解答用紙

1	<b>P</b>	<b>(</b>	9	$\oplus$
2	P	4	<b>(7)</b>	$\oplus$
3	P	4	(7)	$\oplus$
4	$\mathcal{P}$	4	9	Œ
5	P	4	9	Œ
6	P	4	①	$\oplus$
7	7	4	9	$\oplus$
8	<b>P</b>	<b>(</b>	①	$\oplus$
9	<b>P</b>	4	①	Œ
10	P	4	(7)	Œ
11	P	4	9	Œ
12	7	4	9	$\oplus$
13	<b>(P)</b>	4	(†)	$\oplus$
14	P	4	9	Œ
15	7	4	9	Œ
16	P	4	<b>(7)</b>	Œ
17	P	4	9	$\oplus$
18	P	4	9	(H)
19	7	4	<b>(7)</b>	Œ
20	7	4	9	$\oplus$
21	$\mathcal{P}$	<b>(1)</b>	9	Œ

22	7	<b>(1)</b>	①	$\oplus$
	77.0			8907
23	Ø	4	Ð	$\oplus$
24	$\mathcal{P}$	<b>(</b>	ூ	$\oplus$
25	$\mathcal{P}$	<b>(</b>	Ð	$\oplus$
26	7	<b>(</b>	<b>(</b>	$\oplus$
27	7	4	(1)	$\oplus$
28	7	4	<b>(</b>	$\oplus$
29	7	4	(1)	$\oplus$
30	7	4	(†)	$\oplus$
31	7	4	(7)	$\equiv$
32	7	4	(†)	$\oplus$
33	$\mathcal{P}$	4	<b>(</b>	Œ
34	P	4	<b>(</b>	$\equiv$
35	7	4	9	Œ
36	7	4	(1)	$\oplus$
37	7	4	(†)	Œ
38	7	4	<b>(</b>	Œ
39	P	4	Ð	Œ
40	7	4	Ð	Œ
41	P	4	$\bigcirc$	$\equiv$
42	P	4	Ð	$\equiv$

受験番号	氏名		
		点数	

# 問題

全 42 問

解答時間 90分

#### 第1問

経営資源の種類にはヒト、モノ、カネといった形のある有形資源と、情報のような形のない無 形資源がある。無形資源である情報的経営資源に関する記述として、最も適切なものはどれか。

- ア 情報的経営資源には、企業の内部にある技術や顧客情報、ノウハウは含まれるが、企業の外 部にある企業イメージ、信用などは含まれない。
- イ 情報的経営資源では、言語化や数値化されていないものほど模倣困難性が小さい。
- ウ 情報的経営資源は、日々の企業活動の中で蓄積されていく。
- エ 複数の事業部がある企業において、部署により事業の特性が異なるので、混乱を避けるため に情報的経営資源は多重利用するべきではない。

#### 第2問

企業ドメインと事業ドメインに関する説明として、最も適切なものはどれか。

- ア 企業ドメイン、事業ドメインどちらにおいても事業環境の変化を鑑み、見直す必要がある。
- イ 機能的に定義されたドメインは、自社のドメインを狭く解釈してしまうマーケティングマイ オピアに陥りやすいというデメリットがある。
- ウ 事業ドメインでは、事業間のシナジーを考慮しながら各事業への資源配分を定める。
- エ 事業ドメインを考える際に使われるエーベルの 3 次元枠組では、Competitor(競合)、Function (機能)、Technology (技術)の 3 つの切り口を扱う。

#### 第3問

戦略立案を行う際に、自社が置かれている環境を分析する。環境分析のための枠組み(フレームワーク)に関する記述として、最も適切なものはどれか。

- ア 3C分析では、企業を取り巻く主要なプレーヤーである、Company(自社)、Customer(顧客)、Cost(価格)の3つの観点から分析を行う。
- イ PEST 分析は、企業を取り巻くマクロの外部環境の分析手法で、Politics(政治)、Environment (環境)、Society(社会)、Technology(技術)の4つの単語の頭文字を取っている。
- ウ SWOT 分析とは、自社の内部環境にのみ着目する分析手法で、自社の強み、弱み、機会、 脅威の 4 つの観点から分析を行う。
- エ 環境分析には、企業の内外による分類として、社内の分析を行う内部環境分析と社外の分析 を行う外部環境分析がある。また、分析の範囲による分類として、企業の周辺環境を分析するミ クロ環境分析と、より大きな範囲で社会環境の分析を行うマクロ環境分析がある。

#### 第4問

プロダクトライフサイクル(PLC)の各段階の特徴に関する記述として、最も適切なものはどれか。

- ア 導入期は、競合相手が少ないため、広告宣伝費や販促費を抑えることができるので利益が出 やすい状況となる。
- イ 成長期の顧客はアーリーアダプターであり、生産拡大のための投資が先行するため、利益は 導入期よりも減少する。
- ウ 成熟期の顧客はマジョリティが中心となり、マーケティングでは成長期よりもさらに開放的 なチャネルを採用する。
- エ 衰退期の顧客はラガードが中心となり、顧客のロイヤルティも低いため、売上の減少に伴い 利益は赤字となる。

## 解説

#### SHEET1 経営戦略とドメイン

#### 第1問

経営資源の種類にはヒト、モノ、カネといった形のある有形資源と、情報のような形のない無 形資源がある。無形資源である情報的経営資源に関する記述として、最も適切なものはどれか。

- ア 情報的経営資源には、企業の内部にある技術や顧客情報、ノウハウは含まれるが、企業の外部にある企業イメージ、信用などは含まれない。
- イ 情報的経営資源では、言語化や数値化されていないものほど模倣困難性が小さい。
- ウ 情報的経営資源は、日々の企業活動の中で蓄積されていく。
- エ 複数の事業部がある企業において、部署により事業の特性が異なるので、混乱を避けるため に情報的経営資源は多重利用するべきではない。

正解:ウ

#### 参照先

まとめシート SHEET1 経営戦略とドメイン P.21 経営資源

#### 解説

- ア 情報的経営資源には、企業の内部にある技術や顧客情報、ノウハウや、<u>企業の外部にある企</u> 業イメージ、信用などが含まれます。
- イ 情報的経営資源は、言語化や数値化されていないものほど模倣困難性が<u>大きい</u>、つまり真似 しにくいという特徴もあります。
- エ 情報的経営資源は、日々の企業活動の中で蓄積されていく、複数の事業で<u>多重利用すること</u>ができるといった特徴があります。

#### 第2問

企業ドメインと事業ドメインに関する説明として、最も適切なものはどれか。

- ア 企業ドメイン、事業ドメインどちらにおいても事業環境の変化を鑑み、見直す必要がある
- イ 機能的に定義されたドメインは、自社のドメインを狭く解釈してしまうマーケティングマイ オピアに陥りやすいというデメリットがある。
- ウ 事業ドメインでは、事業間のシナジーを考慮しながら各事業への資源配分を定める。
- エ 事業ドメインを考える際に使われるエーベルの 3 次元枠組では、Competitor(競合)、Function (機能)、Technology (技術)の 3 つの切り口を扱う。

正解:ア

#### 参照先

まとめシート SHEET1 経営戦略とドメイン P.23 ドメインの定義・範囲・領域

#### 解説

- イ <u>物理的に定義されたドメイン</u>では、自社のドメインを狭く解釈してしまうマーケティングマイオピアに陥りやすいというデメリットがあります。
- ウ <u>企業ドメイン</u>は、企業全体の事業ポートフォリオを定めるもので、事業間のシナジーを考慮 しながら各事業への資源配分を定めます。
- エ <u>**エーベルの3次元枠組**</u>では、<u>Customer(顧客)</u>、Function(機能)、Technology(技術)の3 つの切り口を扱います。